町のたより

発行所
愛媛県喜多郡
長浜町役場
印刷所　岸本印刷所

猛威振ったセキリ菌

出海地区集団発生をかえりみて

昭和三十七年四月十二日午前十時まえ、出海地区の耳塚医師より九名の赤痢患者が届出られた。ちようど当日は青島地区において結核健康診断が行われるため大洲保健所長一行は午後の船便で来島の予定であつたが、一時に九名の患者発生の状況より集団発生の恐れありとの判断から、所長は青島行きを中止し、住民課長とともに出海へ急行した集団発生の予感はついに現実の姿となつて、わが町史に深刻な傷痕を残すような大事件に発展したことは周知の通りである。四月十二日に発生した患者につづいて、つぎ〳〵と患者及び保菌者の発生を見て、で患者総数九四、保菌者総数二七三、合計三六七名に達し、大和地区の隔離病舎には収容しきれず、出海小学校を臨時仮隔離所として全員を隔離するとともに、町においては集団赤痢対策本部を設置して防えき活動に全力を投入することになつた。

四月十日がこの地区の春祭り、翌日は慣行によつて地区住民こぞつての潮干狩りと続いたので、赤痢菌の体内潜伏期が約三日という通説に従えば、原因はあるいは食品原材料の汚染ではないかと想像されたが、その発生率が異常に高く、かつ範囲が地区全般に亘つていることなどから、原因は水系によるものではないかと推定されるにいたつた。

出海地区の簡易水道は昭和三十二年に完成、塩素滅菌により給水されてきたのであつて、現在にいたるまで特にこれといつた事故もなく、かつ水道法による規定の水質検査も毎月実施して異常は認められなかつたのであるが、かりにこの集団赤痢の感染経路が水道であるとすれば、四月十日以前のごく最近の期間内に、この水道水が、なんらかの原因により赤痢菌によつて汚染されていたと見なければならない。

発生の当初は、いまだかつてない事件であつたためすべての部面に混乱状態を現出したが、県及び町当局の全機能をあげての防疫活動が順次軌道に乗るとともに、地元の各ご有志の尊い犠牲的奉仕を得て、諸般の防疫対策が積極的に打出されて効果をおさめて行つた結果、四月二十四日より漸次全快者を出すにいたり、各関係者はようやく愁眉を開くことができたのであつた。幸いにも死亡者は一名もなく四月末日には、小学校の仮隔離所を廃止し、残りの患者及び保菌者は全員大和の隔離病舎に収容して治療に専念していただくことができたことは、不幸中の幸いともいうべきであろうか。

五月二十五日までには、大和隔離病舎の収容者も全員恢復退院された。今後再び、この赤痢感染者に対する検便が実施されることであろうが、その際やはり数名の保菌者が出ることが予想されるので油断はまだ禁物である。

五月十八日、地元の公益会主催でこのたびの集団赤痢の反省会が催された。地元各種団体等の代表者、町よりは、助役、住民課長、衛生係長が出席しいろいろと今度の事件に対する切実な反省がなされるとともに将来二度とこのような不祥事を惹起しないよう建設的な意見が活発に交換されたその大要は次の通りである

一、赤痢の疑いがあるときは早速医師の診断を受ける。

一、毎月一回、青年団が主となつて下水及び河川の清掃を行なう。

一、各区に共同ごみ箱を設置して環境の浄化を図る

一、河川で野菜等の食物を洗わない。

一、酒席の献盃はお互に注意して止める。（この件は全町をあげて実施するよう町内各地区に呼びかけることとなる）

一、秋祭、敬老会等は、今後の情勢を見てその実施を決定する。

なお町当局に対して次の要望があつた。

一、水道水に対して絶対的な安心感がもてるよう諸般の整備改修を早急に実施されたい。

一、現在の下水は不完全なので本格的な下水道対策を樹立されたい。

一、現在、業者の行なつているし尿処理が不完全なので、町において監督を厳にされたい。

以上の点について助役より具体的な説明があり、必ず各位の要望に応えるべく善処する旨確約があつた。

「禍を転じて福をなす」という諺があるとおり、このいまわしい集団赤痢に見舞われた出海地区は、地元各位のこの尊い体験と反省、それに加えて今後に対する適切な決意があるかぎり、全国に名だたる保健衛生地区として脚光を浴びる日も遠くはないであろう。

赤痢患者発生及び防疫対策状況

月日	患者数	保菌者数	防疫対策状況
4.12	9	0	
13	20	4	集団赤痢対策本部設置、一斉検便実施
14	25	60	出海小中学校を臨時仮隔離所に転用
15	16	19	県予防課長現地指導、本町医師会及び出海地区婦人ともしび会員より協力方連絡あり
16	6	45	県予防課長並びに県公衆衛生課水道係長現地指導
17	3	26	
18	0	3	出海地区区長会開催
19	1	84	一斉投薬（サルフア剤、アプシード錠を使用、乳児を除く）
20	0	7	一斉消毒、第2次一斉投薬、乳児一斉投薬（シロツプ剤使用）地区衛生大会開催
21	0	1	緊急臨時町議会開催、第3次一斉投薬、第2次乳児一斉投薬
22	0	0	第4次一斉投薬、第3次乳児一斉投薬
23	2	0	第4次乳児一斉投薬
24	1	1	
25	1	0	第2次一斉検便
27	1	16	
28	0	2	
29	1	0	
30	0	2	
5 1			一斉消毒
2			臨時仮隔離所閉鎖
5	3		
7	2	1	
9	2		
12	1		
14		2	
計	94	273	

～4月の人口動態～

男	8人	
女	8人	
計	4人	
世帯数	2	
生	9	7件
亡	6	8件	
婚	5	6件
離	1	0件

（4月末日現在）

赤痢防疫対策追加予算について緊急臨時議会開催

出海地区集団赤痢発生に伴う防疫対策追加予算についての昭和三十七年第二回緊急臨時議会が四月二十一日午前十時より開催された町長より経過報告後、発生源因等につき種々の意見が出たが、まず一日も早く問題を解決すべく努力して貰いたい旨要望があり、総額六百九万円にのぼる防疫対策追加予算が上程可決された。最後に出海地区議員より町の努力を感謝する旨の挨拶があり、町長より地元議員及び地元民の協力に感謝するとともに今後も職員一同一丸となつて万全を期したいからよろしく協力方御願いすると述べて、午後十二時十五分閉会した。

参議院議員通常選挙を迎えて

ことしは、昭和三十一年七月に行なわれた第四回参議院議員通常選挙で選出された議員の任期が七月七日に満了するので、その改選のための通常選挙が七月一日に行なわれる。

従来、参議院議員選挙における投票率は大体七〇％前後で、衆議院議員選挙の場合にくらべて約一〇％ほど低いのが例であつた。その原因は、ひとつには国民の参議院に対する関心が薄いことにあつたものと思われる。

わが国の国会は、衆議院と参議院の両院で構成されている。国によつては一院制をとるもの（フインランド、ギリシヤ等）もあり、二院制をとるもの（イギリス、アメリカ等）もあるが二院制をとる理由は、衆議院が完全に国民を代表していない場合があり、国民の意見をできるだけ国会に反映させ、衆議院における行き過ぎを抑制し、議事を慎重かつ合理的にさせるためである。また、解散などで衆議院が活動できなくなつた場合には、参議院がそれを補充する必要もある。

これが、参議院の存在意義である。

参議院は、衆議院と同じように「全国民を代表する選挙された議員」で組織されるが、二院制の意義を発揮させるため、衆議院とことなつた構成方法がとられている。つまり、参議院は地方選出議員一五〇人と全国選出議員一〇〇人の計二五〇人の議員で組織される地方選出議員は各都道府県の区域を選挙区として、また全国選出議員は全国をひとつの選挙区として選出される。任期は六年で、三年ごとに半数ずつが改選される。参議院には解散の制度はなく、その通常選挙は定期的に行われる。

今回の通常選挙は、昭和二十二年四月の第一回通常選挙から数えて第六回目にあたる。

参議院が衆議院とともに「国権の最高機関」としてわが国の政治に果たす重要な役割を考えるとき、この際、大いに参議院に対する認識と関心を高め、悔のない一票を行使したいものである。

▼五月一日から▲子供の転落事故防止運動

幼い生命を水魔から守ろう

気温の上昇に伴ない、子供が水にあこがれ、また水に親しむ機会が多くなることと、農繁期になると幼児に対する保護者の注意が行き届かなくなるなどの理由から急激に増加する子供の転落による水死事故を防止するため、五月一日から八月三十一日までの四ケ月間全県下一斉にこの運動を推進しております。

昨年、大洲警察署管内では、弦川、大洲貯水槽、池などで六名の犠牲者が出ております。この犠牲をなくする為には皆で気をつけ合う以外に方法がありません。お互に次のようなことがらを守つて、いたましい事故を防ごうではありませんか。

◎保護者は幼児が危険な箇所に近づかないよう平素から充分しつけをするとともに幼児から目をはなさないよう気をつけましょう。

◎だれかれを問わず危険なところにいる幼児を見かけたものは、これを安全な場所に導き、家族に連絡しましょう。

◎特に児童、生徒が幼い弟妹などをつれて外出するときは、目をはなさないよう、よく言い聞かせましょう。

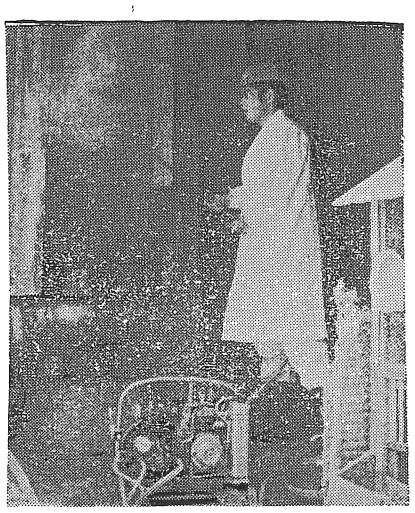
◎危険な場所は、わたくしたちの周囲には沢山ありますまず幼児から目をはなさないことにつとめましょう。

◎野壺、野井戸などで使用していないものは埋め立てるか、とりこわしましょう。

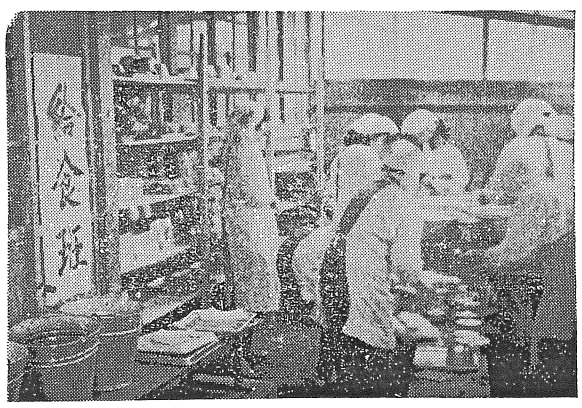
使つているものは丈夫なコンクリート、木製のフタ又は幼児が入れないような柵を作つて下さい。

◎貯水槽、貯水池小さな溜池には必らず柵をしましよう

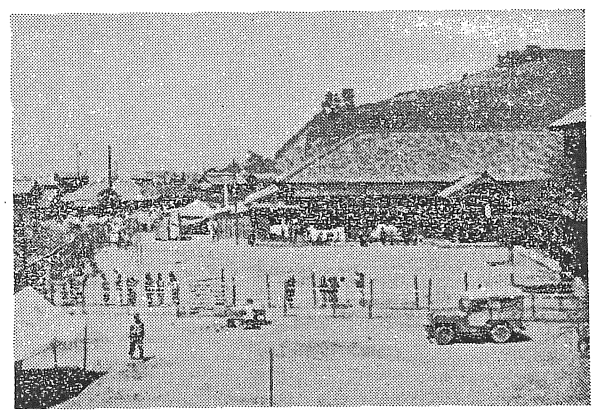
赤痢菌の根絶に活躍する消毒班



出海仮隔離所給食班の活動
（出海婦人会）



出海伝染病患者仮隔離所の全景



正しく 明るい選挙を・・・
参院選をひかえて

わたくしたちのくらしをゆたかにし、住みよい社会をつくるには、よい政治が行なわれなければなりません。それには主権者であるわたくしたちが、正しい政治を行なうわたくしたちの代表を、明るい、きれいな選挙によって選ぶことです。つまり、選挙は政治のもとであります。ところがこれほど大切な選挙であるのにその実態は買収や供応などの悪質な違反が多く、なかなかきれいになりません。これでは、わが国の民主政治はいつまでたっても立派になることはありません。

このことをよく考え、きれいな選挙を行ない、正しい政治によって良い国づくり、よい町づくりをしたいものです。

いよいよ参議院議員選挙も来る七月一日に行われることになり、新聞、ラジオ、テレビでも正しく、明るい選挙を実現しようと呼びかけております。

とかく参議院については衆議院ほどの関心が国民にないというか、認識が低いのか、実際の選挙において もかなり投票率が下廻っていることが過去の選挙にもあらわれています。しかし共に国民の代表であることには誰しも異論はないはずです。すなわち参議院は国民の意思にかわって、政策の詳細な仕上げと運用について、具体案を用意して、超党派的な立場から衆議院の行動を監視し、ときによってその行動に警告を与え世論をよびおこす重要な役目をもっております。

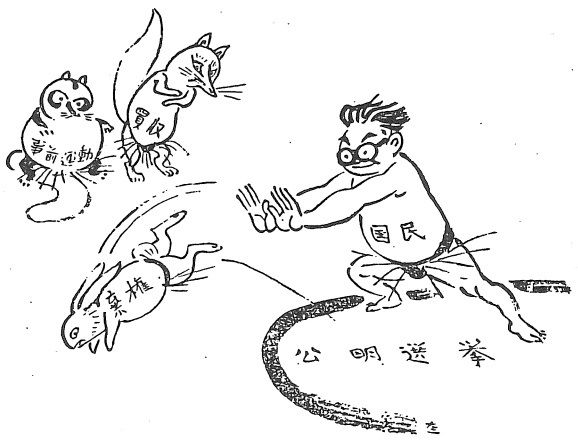
この大事な代表をおくるため、わたくしたちは一時の利害にまどわされたり、あるいは情実、縁故にひかれて、清き一票の行方をあやまらぬよう大切にし、よく見、よく聞き、よく考えこの人ならば大丈夫という人に大切な一票を投じなければなりません。

公職選挙法も今度の国会で改正され、公明選挙への啓発活動も活気をおびることと思われますが、わたくしたち一人一人が公明選挙への希望を強固にし、どのような甘言、誘惑があつてもこれに乗らず、自分自身の判断で最も適当と思う人に投票するということが、これすなわち正しく、明るい選挙であります。

長浜町選挙管理委員会

選挙違反
特に買収、供応を
追放しよう!!

三悪を土俵の外へ　宍戸左行



青少年保護育成運動
にちなんで
――よりよき未来への前進の力を歴史的偉人の青春期に探る――

高杉普作（たかすぎしんさく）

動けば雷電の如く、発すれば風雨の如し。衆目駭然敢て正視するなきもの、これ東行高杉君にあらずや。

伊藤博文が撰した東行記念碑の冒頭の文章である。記念碑の文章などというものには、とかく白髪三千丈式の誇張が多いが、こと高杉晋作に関する限り、この言葉はまさにぴたりというところであろう。たしかに、高杉は幕末の風雲児であつた。あの維新の動乱を彼ほどに豪快に行動したものはないであろう。二十四才の若さで上海に派遣されたかと思うと、そこでは早速に独断で軍艦を買い込むし、品川御殿山に英国公使館を焼くかと思えば、京都に現われて国事の奔走をする。最初に身分を問わない有志の人で軍隊をつくつたのも彼であるし、その軍隊（奇兵隊）を持つて幕府の大軍を討ち破つたのも彼であるかと思えば外国の公使と堂々議論をたたかわして敗戦の処理にみごとな腕をみせる。どの行動をとつても、じめじめしたところがないまつたく痛快そのものだ。そして明治維新の最もすぐれた指導者は誰かと聞かれるならば、それも高杉晋作である。酒と女にはいささかだらしがなかつたけれども、それも彼についてのみいうならば、許してやつてもよいような気がする。その高杉晋作が結核のために息を引きとつたのは数えて二十九才。まだ青年の血気の強く残つている年であつた。高杉晋作のそうした一生をみていると、わたくしは人間というものは、特に青年というものは、自分の理想にむかつて、気持のおもむくままに行動したらよいのではないかという気がする。ところで、高杉晋作が吉田松陰の松下村塾にあらわれたのは、数えて十九才のときであつた。これもまことに彼らしいあらわれ方なのである。すなわちその頃彼は藩校明倫館の学生であつた。ところがその学生でありながら、急に嫌になつたのだ。先生がみんな気にくわぬということであるらしい。そしてさつさと松下村塾にくらがえしてきた。いまでこそ松下村塾だが、その当時の塾は天下の罪人吉田松陰が細々とやつている小さな塾である。父兄たちも、その塾に子供が通うことをそれほど喜んではいなかつた。危険思想に染まるおそれがあるというのだ。したがつてそこに集まる子弟はおおむね足軽や町医者くらいの身分の低い者の出身が多く堂々と藩校明倫館に入れるほどの者はいなかつた。そこへ明倫館をやめて、しかも身分の高い高杉がやつてきたのだから、これは確かに異常なのである。官立の東京大学や京都大学に入つていたものが、それをやめて名も知らぬどこかの小さな短期大学に移つたくらいか、それ以上だつたろう。しかし彼は、吉田松陰という人を本当に師とするに足ると思つていつたのだろうまたその雰囲気が好きだつたのだろう。そこに腰をおちつけてしまつた。誰がどう思うとかまわぬのだ。しかしこの松下村塾の勉強は彼を立派な指導者につくちあげた。明倫館にいてはこうはいかなかつたであろう。そこにいれば立身出世の早道はあつたかも知れないが、それでは本当の学問も本当の友だちもできなかつたのだ。彼はこんな調子でさつさつさと気持のおもむくままに行動した。誰がどう思おうと、そのことによつて周囲に波らんが起きようと平気なのである。もちろん、それは多くの失敗を重ねることでもあつた。彼くらい多くの失敗をした人間も少なくないであろうそれが思わぬ結果となつて頭を円めたり、閉門をおおせつかつたり、かと思えば博徒の親分のところに逃ぐ、ていつたり、いろ〳〵なことがある。心のままに行動するものの宿命のようなものだ。しかし、彼の行動にはいつも私というものがなかつた。時代というものと四つに組んでたたかつてやろうという気持がみなぎつていた。

青年晋作は最後まで青年の血をもやしつづけていたのである。

◇高杉晋作（一八三九～六七）江戸幕末の尊攘倒幕派の志士。高杉家は長州藩の百五十石の家柄で晋作は一八五七年（安政四年）吉田松陰の門に入つた。六一年（文久一年）長州藩毛利定広の小姓となつて出府し、藩を代表して朝議を攘夷に向わせることに力を尽した。このころ晋作はハツキリした尊王攘夷論者だつたが、六二年藩命によつて幕府の船に便乗し上海を見学してから攘夷より倒幕へと思想は変つた。六三年長州藩が下関海峡通過の外国船を砲撃し戦いを準備するや、晋作は身分家格にかかわらぬ奇兵隊を組織、翌年四国連合艦隊が来襲したとき敗戦でろうばいする藩庁に代つて連合艦隊との和議に当つた。同年の第一回長州征伐に上層保守派が幕府に屈するのを見て藩内戦を起こして藩の権力をにぎりつづいて六五～六六年（慶応一～二年）の第二回征長の役に奇兵隊以下の諸隊をひきいて幕府軍と戦い勝利をおさめたが、若くし病て没した。

長浜町公明選挙
推進協議会発足
会長に 中野 浩 氏

長浜町公明選挙推進協議会が去る四月十日発足したこの協議会は婦人、青年団体、社会教育団体、報道機関等民間人のみにより結成されたもので、会長に中野浩氏（相生分舘長）副会長に和田正義氏（町連合青年団長）が選ばれ、今後の公明選挙の常時啓発運動を強力に推進してゆくことになつた。

当日は各委員の意見交換のみにとどめ、事業計画等については更めて協議してゆくことにした。

尚役員委員の氏名は次の通りである。

会　長　中野　浩（相生分舘長）
副会長　和田　正義（町連合青年団長）
委　員　鎌田　定子（長浜婦人会長）
〃　青野　義夫（愛媛新聞社）
〃　重岡　徳和（長浜青年団長）
〃　深井　満子（喜多灘婦人会）
〃　有友　一子（櫛生婦人会長）
〃　谷本　富重（白滝青年団長）

不在者投票は長浜町役場ですることになりました

不在者投票は従来は各出張所で取り扱つておりましたが、今後は長浜町役場で取り扱うことに改正になりました。

不在者投票は選挙の告示（今回は六月七日）の日から選挙の期日（七月一日）の前日（六月三十日）までです。

なおくわしくは、町役場または各出張所でお尋ね下さい。

◇◇◇ 普及員活動の組織が変わりました ◇◇◇

今迄各地区を受持つて常に身近で皆さんの良き相談相手であつた普及員さんが全員大洲へ集合して各地区の皆さんの要望によつて専門の方が出向いて行くようになりました。今迄に比較して「いつでも間に合う」普及員が「間に合いにくい」が専門の深い知識で皆さんの問いには何でも適確に答えてくれる。」普及員さんになつたのです。

しかし間に合いにくいといつたのは、疑問が出来るとすぐ聞きに行く事が出来にくいと云うことで、計画的に皆さんが何時、どのような会合をするとか又は研究会をするから来てくれとか云われる時には直ぐに役場へ連絡して下されば専門の方を当日御伺いさせられるわけですし、急ぐ時は急ぐなりの処置を致します。

専門の科目は畜産、果樹そ菜、一般作物、経営の五科目に分かれております。せいぜい有効に利用して下さい。

連絡はすべて役場の産業課を通じて申込んで下さい出張所、農協等へ申出られてもかまいませんが、各団体は産業課を通じて普及所へ連絡することにしています。これは簡単な用件等で近地区との重復やむだをしない様にするためですが、めんどうがらずに今迄以上に有効に利用をして下さい

共済組合だより

⊙去る四月三十日第七回通常総代会を開催し、昭和三十六年度事業報告書並びに収支決算書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び昭和三十七年度事業計画書収支予算書等十議案を承認又は決議しました。

⊙役員並びに損害評価委員が五月十日で任期満了になる為四月三十日通常総代会で改選の結果左記の通り決定しました。

理　事
白滝　三秋狻雄　再
〃　宮本数美　新
大和　小西豊己　再
〃　山下清雄　新
長浜　東　俊蔵　再
喜多灘　大野高吉　〃
櫛生　松岡武平治　〃
〃　田中忠登志　新
出海　藤井辰生　再

監　事
白滝　平井豊秋　新
喜多灘　矢間善男　元
櫛生　二宮義徳　新

損害評価会委員
白滝　態野　章　新
〃　清水勘四郎　〃
〃　林　日出猪　〃
〃　木村教登司　〃
〃　大野快真　〃
〃　滝川　勇　〃
〃　窪　昭一　再
大和　西山安男　新
〃　藤岡千代司　再
〃　岡本鶴男　新
〃　大成　淳　〃
長浜　上野富貴衛　再
喜多灘　西岡丑太郎　〃
〃　桐田信枝　新
櫛生　桑野春太郎　再
〃　加納徳利　新
〃　山田和光　〃
出海　堀内正男　〃
〃　参河亥四男　〃

NHKの放送受信料が四月から変りました

最近、テレビが非常に普及しラジオとテレビを合わせてお持ちになる家庭が多くなつて来ましたが、こうした現状を考慮し、さらに「受信料制度調査会」の答申等を尊重して、四月から放送受信料が次のように改正されました

⊙新しい受信料表

NHKの行なうすべての放送受信料
一か月　三三〇円
ただし、ラジオだけの場合
一か月　五〇円
（集金は従来通り二か月ごとにお伺いします）

⊙NHKの第二次六カ年計画

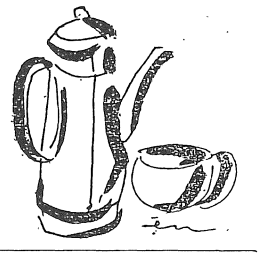
このような新しい受信料はNHKがこれから六年間にしなければならない事業を中心に、さらに将来の見通しなどを考えあわせ決められたものです。

NHKではよい番組を全国すべてのご家庭におとどけするため、昭和三十七年から四十二年までに、おうよそ次の計画を行ないます

(1)テレビ総合、教育の放送局を約八〇〇局建設する
(2)テレビの放送時間は、総合、教育とも一日十八時間に延長し、ローカル番組もふやす。
(3)スタジオ設備を拡充し、東京テレビセンターを建設する。
(4)カラーテレビを全国で見られるようにする。
(5)FM放送局を約一五〇局建設する。
(6)番組を充実し、ニュース取材態勢を強化する。
(7)放送を利用する通信高等学校の設立を図る。
(8)経営の合理化を図る。

この計画が完成しますと全国ほとんどの地域で、放送をおたのしみいただけることになります。

食中毒に注意



本格的な食中毒のシーズンにはいる。食中毒の七〇パーセントは原因不明といわれるが、梅雨期にはとくに多い。最近は「病原性好塩菌」によるものが多いという考え方がでている。これは塩気のあるところに繁殖する細菌のことで、アジ、イカ、サバ、イワシなどに繁殖する菌であるが、それも新鮮な魚に繁殖するから始末が悪い。しかし水洗いをよくして、よく煮るか焼くかすると菌は死んでしまうので、これからは、酢のものにしたり、生のまま食べないで、必ず火を通すことが大切である。

昭和三十七年度行政苦情相談協力委員に井関忠夫氏が再任

今年度の行政苦情相談協力委員に井関氏が再任発令されました。

このことにつきましては今年一月十日発行の「町のたより」にも掲載致しましたのでおわかり頂いた事と思いますが、今年も引続き住民に対する国の行政上の苦情蒐集やあつせん行為、広報活動等の仕事をして頂くことになるわけですから国の行政上の色々の問題でお困りの方は直接井関氏に相談されるよう御知らせ致します。

誤植訂正

「町のたより」四月号で町営住宅入居者選考委員の改選についてお知らせしましたが、笹本恭進（櫛生）は、笹本恭進（沖浦）の誤植、又町議会選出の選考委員 松本垣生氏（櫛生）がもれておりましたので謹んで訂正致します。